

# オリーブの会通信

2014年12月9日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0078 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)



## 第150回月例会ご案内

日 時	2014年12月21日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 (第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~13:40 報告・連絡 川井理事長 13:40~14:45 (1) ポパイの会の活動を通して 参加者 (2) 知事、高松市長への要望書提出について 泉理事 14:45~15:00 休憩 15:00~16:30 グループ別話し合い
参 加 費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円

平成 26 (2014) 年も残り少なくなり、厳しい寒さが続く今日この頃ですが、会員の皆様にはくれぐれもお体を大切にされ、新年を迎えられますようお祈り申し上げます。

さて、平成 26 年度は「ひきこもりサポーター養成研修」が香川県の委託を受け実施されました。来年度はその結果を踏まえた実践が行われるとともに、KHJ 親の会主催の全国ひきこもり家族支援者交流会第 10 回香川大会が予定されています。

関係機関等の皆様のご支援をいただきながら、オリーブの会は勿論のこと、KHJ 四国ブロックの会員、若者の方々とともに出来ることから前に進めていければと思っています。

また、ひきこもりを知らない人、支援につながっていない人にも、広く発信できる機会となります。

12 月月例会には、多数のご出席をお願い致します。

先月の月例会の概要は、次のとおりですのでお知らせ致します。

## 第一部 報告等

### 1 全国ひきこもり家族・支援者代表交流研修会

#### 第 9 回愛知大会参加者による報告・感想

去る 11 月 2 日 (日) 名古屋市東区中村区のウインクあいちで全国ひきこもり家族支援交流会第 9 回

「愛知大会」がひきこもりの家族を持つ人や支援者ら 280 名が参加して開催され、「変化するひきこもり支援～多様な立場から提言」と題して、行政、専門家、親の会、当事者の支援制度について意見を交わすシンポジウムがあり、当事者からは支援を必要としたときに、親の会からつながっていった体験談が語られました。

今回、香川県オリーブの会からは 12 名が参加され、各々が来年 (2015 年) に香川県下において開催されることとなった全国大会への決意を新たにしました。

そこで、大会に参加された方のうちから 5 名の方に大会に参加しての報告や感想をお話していただきました。その概略は次のとおりです。

#### (1) 「ひきこもり大学」について (T さん)

今回初めて全国大会に参加し、当事者 (現在 MUQOL ミューコル主宰) の伊藤みとり氏の体験談を聴き、「ありのままの自分が尊重されるあり方に価値観がある」という話に共感させられた。ただ、伊藤氏のブログを読んだ時、「日々の葛藤を他人のせいにして自分が生きていける」という面を見て怖さも感じた。また、ひきこもり大学では収入を得る具体的な方法などの話があり、香川県でも関心のある方がいればいいと思った。



{理事長付言～今回の大会は若者の自発性が感じられ、随所にアイデアが込められていたのは良かったと思う。}

## (2) 「兄弟姉妹の会」について (Iさん)

分科会では、KHJ 本部の事務局の方の上手なリードにより、参加者の意見が出やすいような雰囲気づくりをされていたのは良かった。ただ、場所移動には苦勞させられた。分科会では7～8名に分かれて話し合われた。その中で二人の方のお話に感動させられた。

### ○ Aさんの場合

年老いた両親と暮らしている弟が外に出られるのにどう働きかけたかという姉の話です。弟が出られるようになったのは、姉の私に深夜電話してきた弟の話を1時間あまり聴いてやったことです。姉の一所懸命が弟に伝わり、弟は外に出られるようになり、社会と繋がったとのことです。

### ○ Bさんの場合

当事者(50歳位の方)は、親の会の勧めで兄弟姉妹の会に出て、姉や地域(介護)との関係が持てるようになった。姉は、介護の要る父と住む弟を遠くで働いている兄から「弟を頼む」と電話が入ったのがキッカケでつながることが出来た。また、介護を通じて地域と繋がることが出来、繋がりが大事であるとのことでした。

## (3) 全体の感想

### ○ Hさん

宮武さんの講演は普通のひきこもりで、重い症状がなかったということで落差を感じた。伊藤氏の話は、理想であり、同じ方向には向いていけないと感じた。ひきこもり大学では参加への方向性を外に発信するのがいいのではないかと思った。

### ○ Kさん

宮武さんは、元ひきこもりで、大学で学んだことを生かして今は社会で働いているという話をされ、大変良かった。

伊藤さんの話やひきこもり大学では、考えや行動に衝撃を受けた。

{理事長付言～ピアサポーターには自分自身に納得して自分の体験を人に話すことも役割の一つとなっています。来年の全国大会の内容等については、四国の支部4県で話し合うこととなりますが、その際、若者からも十分意見を聴きながら道筋を決めたいと思っています。}

## (4) 全体の感想 (Mさん)

福岡に続いて二回目の全国大会参加で、今回は、来年の香川大会に向けての様子を知りたいと思いました。名古屋は地の利もあり、多数参加され有意義でした。

来年の全国大会に向けて歩み出さねばならないと思うと同時に、その際、若者にも積極的に参加していただければ良いと思いました。

支部長会議（11月3日）では、今、香川県オリーブの会が注目されていることを感じました。ひきこもりサポーター養成研修状況を全国に伝えられたのは良かったです。特に、厚労省の方からは「積極的に求めていることには、求めに応じます。」というお話を聞き、「求める気持ちを伝えること」が大切だと思いました。

{理事長付言～オリーブの会が県の委託を受けてサポーター養成研修を行ったことは、KHJ本部に行政との連携が取れている団体として取り上げられているということです。また、今、KHJ本部では、池田代表のもと、素晴らしいスタッフが情報を末端まで浸透させるよう懸命に努力されています。このような前向きな協力姿勢から、オリーブの会も一緒に進めるのではないかと考えています。}

## 2 2015（平成27）年度に向けての取り組み（理事長）

### (1) 全国ひきこもり家族・支援者代表交流研修会 第10回「香川大会」について

全国大会は、四国ブロックの香川県でお引き受けすることとなりました。

「日程」は10月31日と11月1日です。「場所」は香川県社会福祉総合センターです。ほぼ全館借上げの仮予約をしています。会員の皆さんの自主的なご協力のもと、ご意見や他の3県のご意見も聴きながら決めて行くことにしています。

### (2) 要望書について

要望書については、11月21日に香川県知事、香川県議会議長に面談の上、提出しました。詳しくは泉理事から説明します。今は、高松市への要望書を提出するための準備をしています。ひきこもりに係る法整備がされる中で、オリーブの会としては、支援制度が適用出来るものは、自分たちで勝ち取っていくこととしたいと考えています。

## 3 県知事・県議会議長への要望書提出について（泉理事）

### ○ 県知事への要望

去る11月21日（金）に香川県庁（11階知事室）に川井理事長、松本副理事長と共に出向き、浜田県知事（都築県議会議員、障害福祉課長他同席）に対し、要望書を手渡して説明を行いました。過去にも要望書を提出しましたが、知事に面談できたのは今回が初めてでした。

面談の結果は、知事から「ひきこもりの方の状況がわかりました。今回要望を頂いたことについては検討します。」とのことでした。具体的な事項については、後日、担当課から連絡が入ることとなっています。

### ○ 県議会議長への要望

知事への要望に続き、県議会議長室に出向き、議長に対し、同様の「要望書」を提出して説明しました。その際、議長からは、ひきこもりに対する理解を示していただくと共に「議会でも採択するようにしましょう」との回答を得ることができました。これは行政側として

事業を進めていく意識づけとなるものです。

なお、今後は、市にも要望書を出すこととしています。

今日は、知事・議長に提出した要望7項目について、ポイントを説明します。

(資料A4で3枚有)

**要望1 県内に「ひきこもり」を専門とする医師、医療機関の確保について**

平成23年6月に香川県精神保健福祉センターに「ひきこもり地域支援センターの窓口」が設置されましたが、精神科の医師がいません。ひきこもりが病気か否か難しいところはあるが、同センターの中にひきこもりに関して理解と治療経験を有する専門医を置いて欲しい。

**要望2 「居場所」活動に対する補助金の交付について**

今年2月、居場所が高松市内で移転し、社会的ひきこもり者が第一歩を踏み出す場所として新しい拠点が出来ました。そこには、スペースもあるので色々多様性と柔軟性をもった活用をして行きたいと考えています。そこで運営活動費に補助金を頂きたい。岡山県では県下4か所に200万円位、岡山市が研修、旅費、謝礼に20万円位を、それぞれ助成しているとのことでした。

**要望3 相談活動に対する要望について**

2011(平成23)年に香川県精神保健福祉センターに設置された「ひきこもり地域支援センター」の相談業務をより充実させるために、ピア・カウンセリング相談機能を付け加え、当会(家族会)及び当会が関係する当事者にピア・カウンセラーの役割を担わせていただきたいと思います。

**要望4 ひきこもり当事者及び家族に対する訪問活動(アウトリーチ)に関する要望**

国では平成25年度ピアサポーター研修(宇奈月研修)がスタートしたのに伴い、県では平成26年度にサポーター養成研修をオリーブの会に委託された。この種の研修は、KHJでは千葉県と香川県の2県であり、その存在を認めていただけただけのものと思っている。平成26年度の研修は終了したが、「ひきこもり地域支援センター」、市町と協力し「訪問活動」を具体的に開始しなければなりません。ついてはその具体案を早急に策定し、来年度初頭から活動を開始できるようにしていただきたいと思います。

**要望5 「居場所」、「フリースペース」等を「城活動支援センター」に位置付ける**

地域活動支援センターは障害者総合支援法の地域生活支援事業として市町が推進することとされています。社会的ひきこもり者は「障害福祉サービス受給者証」の交付を得られていない者が過半数であるのが現状です。また二次的障害をもっていることが支障となり、既存の地域活動支援センターに向向くことを望んでもできない状況にある。当会では

支援者（元当事者も含む）の長期に亘る熱心なサポートにより、近年当事者が目覚ましい変化を遂げ、就労につながったり、後輩を支援するまでになったケースも出てきている。このことから当会の「居場所」活動を地域支援活動センターに位置付けていただき、今後とも活動が継続可能となることを要望するものです。

#### **要望6 中間的就労支援に関する要望**

親亡き後、「社会的ひきこもり者」は、生活困窮者となり、生活保護に頼るか、極端な場合は「餓死」に至るしかない。

とはいえ、ひきこもり者の中には、特異な能力や並々ならぬ意欲を有している者も少なからず存在しているが一般就労にストレートにつながることは困難である。

そこで、ひきこもりを理解している事業所「職親制度」を県内に整備して欲しい。

#### **要望7 「社会的ひきこり」に対する啓発活動への補助金の交付について**

有効かつ質の高い月例会を継続して実施するため、岡山県に見られるような講師料、交通費などへの補助金の交付をお願いしたい。

#### **○補 足**

全国大会では参加者を代表して、2つの質問

- ・「ひきこもりを障害認定してはどうか」
- ・「地域活動支援センターの予算を活用してはどうか」

を厚労省側に投げかけ、前向きな対応を導き出すことが出来ました。

来年の香川大会は、「参加者が来て良かった」と思えるものにしましょう。

{理事長付言～全国大会開催の決断は、泉理事の「やりませんか」の一言、境先生の「サポートします」の心強い後押しがあったので決心することができました。また、要望書についても泉理事の一言があり提出に至った次第です。}

## **4 その他**

### **○ 助成金申請**

大阪コミュニティー財団に居場所運営費と補修費の2件を申請している。

申請の結果は3月頃に出る予定です。

### **○ フォローアップ研修**

県から「27年度は事例検討方式の研修を3回位実施することを検討している」旨、連絡がありました。

## **第2部 グループ別話し合い（内容は省略）**

今回は、2グループに分かれて「子供の現状と対応」などについて話し合いました。

限られた時間でありましたが、困難を抱えた親の癒しの場であり、明日への希望を得る場となったのではないのでしょうか。

これからも一人一人の親が「諦めない明日のために」の気持ちを持って前に進むしかないと感じさせられました。

以上

## 【ポパイの会】

11/8 (土) しいたけのホダ組み立て作業&魚釣り大会 (庵治町) 参加:保護者7人、当事者7人)

庵治のTさんご夫妻の温かい出迎えを受け、自治会館で暫し一服、その後農園に向かい、しいたけのホダ組み立てのお手伝い、柿の取り入れ等も行いました。少しはお役に立ちましたでしょうか・・・？ その後、海を眺めながら昼食を経て、午後からは投げ釣りを楽しみました。はじめは4人だったのが、そのあたりから次々若者や保護者の方々が集まり始め、最終的には計14名になりました。釣果としては4匹だったのですが、なぜかお土産として持ち帰ったのはタイ、チヌ、カレイ、エビ等1人10匹で、計100匹以上！！(Tさんが地元の漁師さんから調達して下さったとのこと、本当に有難うございました。)

(ポパイの会 Kさんの日誌より抜粋、同 撮影)



11/30 (日) 年賀状の作成 (森下さんと当事者5人)

予めオリーブの会員の方の注文を受けておいたデザインで、森下さんのご指導のもと、パソコンとプリンターを使って年賀状を作成しました。それにしても、はや年賀状かあ〜。早いもので、気が付けば残すところ、あと1ヶ月。何と言いますか・・・アツという間の1年でしたね。

今年1年充実していた人、そうでもなかった人・・・と、まあ、人それぞれでしょうが、ポパイの会としまして、来年は新たなメンバーが参加してくれる様になればいいのになあと思っております。また、現メンバーの皆さんが、益々充実した日を送れる様な年になれば良いですね。

年の瀬を迎えての現在の心境は「四十三年 一睡夢 一期栄華 一杯酒」という感傷に浸りつつも、一方では、不惑を過ぎたというのに、相変わらず怠りまくった日々を送っておりますが・・・

また、いつもながら、多くの差し入れをして下さった保護者の方々、本当に有難うございました。

心より感謝申し上げます。森下さん、その他の方々年賀状作成 お疲れ様でした。

(ポパイの会 Kさんの日誌より抜粋)



**【2014/12・2015/1・2月 居場所活動予定】**

内 容	月	日	曜日	時 間	担 当
2014年度第9回運営委員会	12	7	日	13:30～16:00	川井
個人カウンセリング(松田 勝先生)	12	13	土	9:30～12:30	川井
ポパイの会(年賀状作成・月例会・ 懇親会参加)	12	4	日	13:30～16:00	森下・秦
	12	21	日	13:30～19:00	森下・秦
2014年度第10回運営委員会	1	4	日	13:30～16:00	川井
個人カウンセリング(松田 勝先生)	1	10	土	9:30～12:30	川井
ポパイの会(ボウリング大会)	1	18	日	13:30～16:00	森下・秦 ・加藤
2014年度第11回運営委員会	2	1	日	13:30～16:00	川井
ポパイの会(デッサン教室)	2	15	日	13:30～16:00	秦・本倉H